

# 平成27年度事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション

## 1. 事業の成果

平成27年度はBA設立12年目、次なるステージとして、2020年の東京オリンピック、TPPを視野に、映像サービス・ビジネスの発展、国際競争力の強化に貢献する産官学連携の講演会、サロン、研究会活動を実施した。また、新産業の創出、産業のスマート化、プラットフォーム（WEB）の国際標準化に貢献する「スマートプラットフォーム・フォーラム」活動を推進した。

平成16年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、本年も2回、5月と12月に開催し好評を得ている。特に、桜井 俊氏（総務省 総務事務次官）をお招きして、「ICT活用による地方創生」をテーマで12月に開催した「第24回」は、アンケート調査で大変有意義が61%と高い評価を得た。

平成16年度から開始した「BAエグゼクティブサロン（勉強会+交流会）」は、今期8回（通算103回）開催、12月に、角川歴彦氏（KADOKAWA 代表取締役会長）をお招きし、第100回記念講演を開催した。また、第100回開催を記念したパンフレットを作成し、BA会員、BA活動にご協力頂ける方々に進呈した。また、平成19年度から開始した「BAクリエイターズサロン（勉強会+名刺交換会）」は今期も3回（通算29回）継続開催した。

ブロードバンド（BB）環境における映像配信の成立・発展に向け、平成20年に設置した「映像配信ビジネス研究会」は、今期も10回（通算67回）定期的に開催した。

平成25年度に設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム（SPF）」（委員長：村井純教授）は、農業、健康・医療に続く第3弾として、住環境分野を対象とする第4回公開フォーラムを9月に開催した。また、健康・医療分野の1年半の検討も踏まえ、「2020年のスマート健康・医療プラットフォーム」をテーマに第5回公開フォーラムを3月に開催した。分科会関係では、コンテンツ分科会の「農業生産物の選択の幅を広げるノーバ（農場）」が、LOD Challenge Japanで連続受賞し注目されている。また、SPFと連動した活動として、「IoT/スマートプラットフォーム白書企画委員会」を設立し、白書作りを進めた。

一方、認定NPO法人の資格取得に向け、サポーター募集を推進、平成27年度の個人からの3,000円以上の寄付が100名を超え、資格取得の要件をクリアする道が見えて来た。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営1	「ブロードバンド特別講演会」 第23回（2020に向けたブロードバンド・コンテンツビジネス～ビヨンド4K、デジタルネイティブ・コンテンツへの挑戦～）、基調講演：鈴木幸一（インターネットイニシアティブ 代表取締役会長CEO：グローバル時代のインターネット）、講演 I：藤田敏昭（NTTサービスイノベーション総合研究所長：* *の壁を超えよう） <パネルディスカッション> モデレータ：江崎浩（東京大学 大学院 教授）、パネリスト：柳原広昌（KDDI研究所 執行役員 マルチメディア部門担当：自由視点映像技術の現状と今後）、大沢幸弘（ドルビー・ジャパン 代表取締役社長：Beyond 4K-HDR (Dolby Vision) & Object Audio)、藤田敏昭	5月14日	明治記念館 曙の間	17名	BBに関心のある人 会場参加者：204名 ネット来場者数：1,200	2,369

	第241回(ICT活用による地方創生) 、 基調講演: 桜井 俊(総務省 総務事務次官:ICT活用による地方創生)、講演Ⅰ: 神成淳司(内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長代理(副政府CIO): 地方創生に資するICT利活用)、講演Ⅱ: 伊東千秋(元富士通副会長:ICT活用による地方創生-グローバルに学ぶ-)、 <パネルディスカッション> モデレータ: 関口和一(日本経済新聞社 編集委員)、パネリスト: 高島宗一郎(福岡市長: 福岡流『地方創生×ICT』)、神成淳司、伊東千秋	12月 2日	明治記念館 曙の間	18名	BBに関心のある人 会場参加者: 256名、 ネット来場者数: 747				
交流会・研究会・セミナーの開催1	“BAエグゼクティブサロン” 第96回: 渡邊智之(日本農業情報システム協会 会長: IT農業革命~日本農業を魅力あるものにするIT利活用とは?)	4月 16日	NTTデータ 本社	48名 (延べ)	B BB関係の経営者、 上級管理者: 248名	1,880			
	第97回: 安藤聖泰(HAROiD 代表取締役社長: テレビとインターネットのさらに高い親和性のある融合を目指す、日本テレビとバスキュールの新合併会社 HAROiDとは?)	6月 22日							
	第98回: 小森光修(スカパーJSAT 執行役員副社長: 宇宙・衛星と放送の話)	7月 8日							
	第99回: 関口和一(日本経済新聞社 編集委員: インダストリー4.0時代の日本のものづくり)	9月 17日							
	第100回: 角川歴彦(KADOKAWA 代表取締役会長: 最新メディアの興亡)	12月 18日							
	第101回: 小原正光(NHKエンタープライズ SEP)、小谷野崇司(NHKエンタープライズ EP: 2016 International CESから見えてきたもの)	1月 20日							
	第102回: 柴垣圭吾(日本ケーブルテレビ連盟 企画部長: ケーブル・プラットフォーム構想のもとケーブルテレビ業界全体が大きく動き出した その内容と今後の計画について)	2月 18日							
	第103回: 間下直晃(ブイキューブ 代表取締役社長: 日本のITベンチャー、海外展開の苦悩と展望)	3月 17日							
	「BAエグゼクティブサロン」100回記念パンフレット~これまで(99回)の実施記録 次なるステージの糧に~の提供	11月 ~					-	-	BA活動協力者: 200
	“BAクリエイターズサロン” 第27回: 安田拓二(フoton・アーツ 代表取締役: エンターテインメント分野における3DCG クリエイティブ)	4月 22日					東放 学園	12名 (延べ)	BB関係者 (主にクリエイター): 83名
第28回: 山岸一也(山岸一也建築設計事務所代表: 世界中のメディアへ見得を意識したロンドン五輪競技場-成熟都市五輪。ロンドン2012 から東京2020 へ-)	7月 3日								
第29回: 瀬尾拓史(サイアメント 代表取締役社長・医師: CGは本当に医療を助けるのか?)	11月 20日								
交流会・研究会・セミナーの開催2	[映像配信ビジネス研究会] ブロードバンド(BB) 環境における映像配信ビジネスの成立・発展に向け、平成20年から開始した「映像配信ビジネス研究会」(委員長: 中村伊知哉(慶應義塾大学教授)、副委員長: 境真良(国際大学GLOCOM客員研究員))は、通信・放送の融合、映像配信の共通基盤に関する事項、映像コンテンツ配信関連の動向について勉強会(研究会)を今期も10回(通算77回)開催した。また、コンテンツIDの関係では、来日した米国「EIDR」メンバーと、日本側の産官学関係者とのミーティングを設定した。	4月 -3月 10回 +1	WOW OW会 議室	44名 (延べ)	研究会参加者: 246名	967			

ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2	「SPF公開フォーラム」 第4回(高齢化社会における住環境のスマート化を考える) 基調講演Ⅰ:村井純委員長(Living in the IoT World)、基調講演Ⅱ:村上周三(建築環境・省エネルギー機構 理事長:住宅・建築・都市のスマート化)、講演Ⅰ:境 真良(国際大学GLOCOM客員研究員:高齢化世帯住宅のホームネットワークを考える)、講演Ⅱ:竹川禎信(パナソニック エコソリューションズ社 専務:スマートハウスの実現に向けて)、講演Ⅲ:西川勝利(セコム医療システム 常務取締役:超高齢社会 在宅におけるヘルスケア・見守りのスマート化)、<パネルディスカッション> モデレータ:遠藤諭 分科会副主査、パネリスト:境 真良、竹川禎信、西川勝利、南政樹	9月11日	慶應大学三田キャンパス北館ホール	11名	会場参加者:147名 ネット来場者数:494	939
	第5回(2020年のスマート健康・医療プラットフォーム) 分科会報告(南 政樹 主査:健康・医療分科会検討状況報告)、基調講演:松本純夫(東京医療センター 名誉院長:IoTが創るHospital in the Home-遠隔医療の現場が変わる?)、講演Ⅰ:堀内直哉(内閣官房 健康医療戦略室 企画官:次世代医療ICT基盤の構築に向けて)、講演Ⅱ:橋田浩一(東京大学 ソーシャルICT研究センター 教授:自律分散協調ヘルスケア)、講演Ⅲ:高橋伸夫(日立製作所 情報・通信システム社 主任技師:テレビのデータ放送を使った双方向コミュニケーションによる地域活性化と見守りの取組み)、モデレータ:南 政樹、パネリスト:松本純夫、堀内直哉、橋田浩一、高橋伸夫)	3月28日	慶應大学三田キャンパス北館ホール	11名	会場参加者:154名 ネット来場者数:419	
交流会・研究会・セミナーの開催3	「SPF分科会」 コンテンツ分科会(主査:庄司昌彦):昨年度のLODチャレンジ、アイデア部門優秀賞受賞をベースに、トマトを例に検討を深め、関係者の協力でアプリのデモも作成し、「農業生産物の選択の幅を広げるノーバ(エピソード2)」を応募し、LOD推進賞(審査員特別賞)を受賞し、注目されている。	4月-3月10日	角川第3本社ビル会議室	20名(延べ)	分科会参加者:86名	1,699
	インフラ/農業IT分科会(主査:南政樹):「農業×IT前提社会」を創るには、共通API、スマートアグリプラットフォーム/クラウドの構築、WEBの標準化が肝要である。この実現に貢献する活動として、昨年度の「アイデアソン」の発展形の「ハッカソン」の実施について検討した。	7月-3月8日	WEB会議	16名(延べ)	分科会参加者:51名	
	健康・医療分科会(主査:南政樹):主としてヘルス分野のスマート化について、神奈川CHO活動と連携した勉強会を開催した、またSPF公開フォーラムの分科会報告に向けたまとめ作業を行った。	4月-3月8日	WEB会議	16名(延べ)	分科会参加者:69名	
	実際の健康医療IT現場の状況を聴く公開勉強会(講師:フジクラ健康経営推進室浅野氏、日本医療データセンター木村氏)を開催	7月27日	会議室	2名	公開参加者:27名	
	「IoT/スマートプラットフォーム白書企画委員会」(委員長:藤原洋理事)を設立し、SPF活動と連動した形式の白書作りを進めた。	10月~				

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
	実施しなかった					